

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
メイク・ヘア・ネイル技法 Make Hair Nail Technique		1年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
小山隆人・杉山智明・頼実祐子		福祉棟・3F		授業中に指示します
授業の概要				
ファッションは個人のアイデンティティを表現する重要なアイテムである。ファッションビジネスでは常に受けて側がどのようなものを求めているか、敏感に受け入れる感性が必要とされる。ヘア・メイクやネイルの技術を学び、ファッションをトータル美で提案し、実践できるよう講義・演習をとおして習得する。				
授業の目標				
①ファッション表現に合わせたヘアやメイク・ネイル技法をコーディネートできるようにする。 ②和装・洋装のファッションのTPOに合わせた表現や季節に合った利用法や表現法をできるようにする。 ③技術の習得がトータルコーディネートテクニックとして重要であることを学ぶことができ、写真撮影やファッションショーなどの応用表現ができるようにする。				
授業の方法				
講義と演習で行う。毎回授業内容は異なり、実技やレポートの提出をする。化粧品の種類や道具の使用法を学び、各人の肌診断を行う。テーマ別に基礎知識を理解し、基礎技術、各人に合わせたメイク・ヘア・ネイル表現、次第にファッションに合わせたコーディネートの表現をする。作品は発表形式で、表現の多様性を理解し完成の向上を高める。ファッションショーや撮影のための練習もする。(教材は個人と共同に分け、共同使用分は集金する)				
学習の成果(学習成果)				
①ファッションとメイク・ヘア・ネイルのトータル美を身に付けることができる。 ②TPOに合わせて、自らのメイク・ヘア・ネイルの表現をすることができる。 ③商品企画やデザイン、販促関連業務まで、初歩的なトータル美の感性でアドバイスすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ヘア① ヘアセッター式道具の説明と使用方法・専門用語の説明(レポート課題の説明)			担当:小山
第2回目	ヘア② 道具の展示と実技			担当:小山
第3回目	ヘア③ スタイルの基礎(ピンの止め方、逆毛の立て方、編み込みの方法など基本のヘアアレンジ)			担当:小山
第4回目	ヘア④ スタイルング基礎の展示と実技(基礎的なヘアアレンジ・和装等)			担当:小山
第5回目	ヘア⑤ 骨格やファッション等から考える似合わせスタイリング・ヘアアレンジ			担当:小山
第6回目	ヘア⑥ 流行を取り入れたヘアアレンジ技術			担当:小山

第7回目	ヘア⑦ イメージをデッサン・実技 担当：小山
第8回目	ヘア⑧ 応用 (ファッションショー等のヘアアレンジ) 担当：小山
第9回目	メイクアップ① 基礎知識 (肌の構造・化粧品の種類・スキンケア) 担当：杉山
第10回目	メイクアップ② 基礎 (年齢や顔立ちに合わせたベースメイク、ポイントメイク) 担当：杉山
第11回目	メイクアップ③ 応用 (ファッションに合わせたメイク技術・ショー等のポイントメイク) 担当：杉山
第12回目	ネイルアート① ネイル道具の説明と使用方法 担当：頼実
第13回目	ネイルアート② 爪の基礎知識 担当：頼実
第14回目	ネイルアート③ 基礎 担当：頼実
第15回目	ネイルアート④ 応用 (レポート提出) 担当：頼実

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	積極的に集中して授業に参加し、楽しく受講することができていたか。忘れ物はなかったか。
レポート	20%	テーマに沿った内容やトータル美の視点で、きちんとまとめられていたか
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	50%	ファッショントータル美の感性を向上させることができたか。
その他		

教科書と参考図書

適宜、サンプルや教材を指示。プリントとビデオを使用。

履修上の留意点・ルール

テーマ別の受講は認めない。身だしなみの注意。日頃から自身の人格形成に向上心をもつことを望む。受講時に材料費の集金をする。